

乳がんピアサポート

乳がん体験者がピア（仲間）として、乳がんに伴う、精神的、肉体的、社会的、様々な不安や悩みについて、少しでも軽減できますように、**ご相談者に寄り添い、お話をうかがいます。**

また、納得できる治療を受けるためには何が必要かを話し合い、皆さま自身が最良の選択ができますように、**乳がん体験者の立場からサポート**させていただきます。

医療従事者ではありませんので、**治療方針の決定や、医療行為を行うことはありません。特定の医師、医療機関の紹介なども行いません。**

乳がん・婦人科がんピアサポート

がんになっても赤ちゃんを希望する患者さんに、**妊娠の可能性を残せる場合もある事**をお話し、**一緒に考えていきます。**（がんの診断を受けた後、出来るだけ早くご相談ください。）

自己紹介

私も乳がん患者です。2008年10月、京都社会保険病院で乳がんが発見され、同年11月から沢井診療所にて抗癌剤治療開始。2009年5月右乳房全摘手術、リンパ節郭清をしました。トリプルネガティブです。

自分の症状だけではどうにもならない、もっと乳がんを知りたいと考え、2011年からBEC受講開始。2012年3月CNJ認定BEC（乳がん体験者コーディネーター）資格取得し、体験者として皆さまのサポートをさせていただくことになりました。



代表 吉田羊子

明るい前向きな生活を

ご自身の「乳がんになる前の生活を取り戻したい」「穏やかな毎を送りたい」という気持ちはとても大切です。でも… 様々な不安が頭に浮かび、どのように解決していったらいいのか途方にくれる方も多いのではないのでしょうか。

下の表は、今までにご相談いただいた方々のお声です。

1	今後への不安	6	周りに相談者がいない
2	再発への不安	7	自分の病気が理解できていないという不安
3	気持ちを理解してもらえる相手が欲しい	8	情報が多すぎることからくる混乱
4	生活の送り方への不安	9	先生に何を聞いたらいいのかわからない
5	抗がん剤副作用の苦痛	10	セカンドオピニオンはどうしたらいいか

考えることは一杯ありすぎて・・・憂鬱な気持ちになりますよね。

そんな時、一つずつ理解し、納得し、行動できたら、きっとあなたの**乳がん体験が生き生きとしたもの（克服できるもの）に変わる**と思います。

「京都乳がんピアサポートサロン」では、まず御相談者の今のお気持ちをお聞きし、これからどうしたら一番楽に病氣と向き合えるのかを御相談者と共に考えていきたいと思っています。

スタッフ紹介

1996年12月京都市立病院にて右乳がん、2012年10月沢井記念乳腺クリニックにて左乳がんと診断されました。左乳がんも原発。右側ホルモン陰性、左側ホルモン陽性、温存手術、放射線治療、ホルモン剤内服治療を受ける。2015年3月CNJ認定BEC資格取得。生殖補助医療に携わった経験を生かし、がんになっても赤ちゃんを望まれる女性のサポートをしたいと思っています。現在は産婦人科医院に臨床検査技師として勤務。日本不妊カウンセリング学会認定不妊カウンセラー。

（横治佳世子）

2013年3月に、沢井記念乳腺クリニックにて左乳房のHer2陽性乳がんと診断されました。

ケアマネジャーという仕事を続けながら、術前抗がん剤治療 → 手術 → 放射線治療 → 術後分子標的薬治療を終え、2017年3月に退職。これまでの知識や経験を生かし、在宅と医療や福祉とを繋ぐサポートや、ご自身の治療、また、ご家族のケアに役立つ情報のご提供などができればと思っています。

（清水美佐緒）



横治佳世子



清水美佐緒